

令和2年度 事業報告書

認定特定非営利活動法人
日本カンボジア文化産業振興会

I 事業期間

2020年4月1日から2021年3月31日まで

II 事業の成果

日本語教育支援に関して、調査を兼ねた日本語講習を行う。コロナ過で観光産業が落ち込んでおり、就労がない現状と今後を見据え、現地の学校関係者や政府機関とディスカッションし、日本の農業産業で働く人財育成を検討できないかとの提案をもらう。日本語学校の新設が必要であると要望された。子供たちが学習のために支払う学費が難しいため、無償で支援が必要である。新たな雇用を生み出す環境づくりが必要である。

11月より5カ月間、日本語文化教室（土曜、日曜）を行った。日本語プログラムと生活習慣プログラムを中心に行う。日本語プログラムは、CJCC (Cambodia Japan Cooperation Center) のプログラムで進めた。授業に取り組む姿勢も真面目で、覚えていくスピードは速いと感じる。難しい箇所は復習しながら対応していった。生活習慣に関しては、挨拶や掃除の仕方を中心に指導する。片付ける習慣がないため、教室の片づけを習慣づけることで、自発的に掃除をする生徒がでてきたことは効果があったと感じる。

プノンペン市にて、縫製技術指導を行った。パソコンで映像を見せながら、日本から遠隔にて指導を進め、くまのぬいぐるみをリメイクした。教え方に課題は残ったが、リメイク品は完成し技術のレベルアップに繋がった。商品化に繋げる技術指導を今後もサポートしていく。

ナチュラルプロジェクトサポート支援事業（2020年12月23日～2021年3月31日）は、主体団体が養殖している魚の成長が予定より極端に遅れている問題の調査と解決を進め、販売までのサポートを行った。この事業を通して管理の指導を行うことでカンボジア人の人財育成に繋がった。

世界遺産認定12周年記念事業に参加し、植樹を行い政府機関や地域住民との交流を図った。

コロナ過で活動に難しい年度ではあったが、プレアヴィヒア州スラエム村やプノンペンにおいて事業を行い、日本語教育や技術指導において成果をだすことができた。今後も自立に繋がるような活動を推進していきたい。地域住民との交流ができ信頼関係が構築されている。

III 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	スラエム村で、寄付したパソコンを使い、日本語講習。将来的に日本で働く希望者がいるか調査を行う。	8月15日～8月18日	カンボジア スラエム村	3	3	250

カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	日本語文化教室として、日本語プログラム及び生活習慣プログラムをCJCCの教材で人材育成支援を行う。5名の参加者。	11月～3月 毎週土日	カンボジア スラエム村	1	5	3,737
カンボジア王国を中心とした住民の自立支援事業	縫製の技術指導。映像をみせながら、遠隔による指導を行う。リメイク商品としてくまのぬいぐるみを作る。	12月～3月	カンボジア アプノンペン	3	5	1,796
行政、産業団体、日本文化産業振興会カンボジア本部との協力、連絡連携	テラオライテックの養殖事業において、現地協力。この事業を通して、貧困支援につながる人財育成を行う。	12月～3月	カンボジア スラエム村	1	3	0
カンボジア王国の文化産業化を目的とした情報発信・イベント開催事業	世界遺産プレアヴィヒア12周年記念式典。植樹の支援を行った。	7月	カンボジア プレアヴィヒア州	2	カンボジア 政府関係者 及び住人 100人	0

その他の事業 なし